時ばいいにの「れ変ロてにな己気生をにらたまは人にただンい、事」にかではばとし部のつ。つ船きいやになしき

みが

ん

なき

のつ

かく

けて

声腕

でが

最痛

後く

まな

みあう団たるがて思り屋絆張大ー

人にい゛

が

で あっ で で

でけ

ら思た屋為い にい。長にて

たってた

船ん

ンみか

でなわ

はとか

い力な

いでい

協きけ

カてど

がい自

協ら

なまべとなっし しっ

んまに宿

なりな泊

優しっを

なで

の

やた通

ベこし らとて、

いすい

私い

はろ

や人人

ベ見と

つ知し

うてりゃ

たみなべ

·るのれ

ま食た子すを °を

すを °を 。あい視

感りつ察謝がもに

しとおこ てういら

す。

## でる・で集・でた分・○でつ・にい・○人生に・で・返拶い・○動しにと間

年

尾 第 四中便り

命

全快 国挙

中! 学四

陸中

二名出 技

場

寒たす

一〇九八

教年権

女学校ス

訪ト

K T

問

性教育

講 演

\_

社生県市三 明徒立<sub>教年</sub>

夕

研

土金木水火月

六

· T A 地区というでは、 T A は B に を B

S

陸 大

Ē 競

部

はよ古「に洒挟仏で五事なたた「ともロット」 つう手克元に拶はた分がどけく自終し主うと回 生 」てにな己気生を、。前でをどさ主えた・テもの 集 い、事」にかで自 行きし、ん」て。克ーに集 神団 いかになしき分 動るた次のにの以こっまった。 生 懸

すっている。にしている。にしている。 いにり合年 て設まう部 あ定し っした年は た活 °生っ た活 活動更一仲

い、時間がいるのでは、いからでは、いからのでは、いからのでは、いからは、いからは、いいのでは、こ ったです。これでは、いろい 挨けろ 拶やし





校 訓 中 強い意思 豊かな心 確かな学力

> 発行責任者 校長 中島恒士

六三

日日日

土水月

業年替

懇校

談講

会話

講

演

会

三振月

行

定

3年前田琳香さん



七六

一合大会コンクー

ŋ

ま

二〇九七

土金水

県夏P三

集員

会会

日日日日日日

L 想 談 会

5

金月

す。 全中が決っ 頑張り、 です。 思い な お 今後 切 述べるようにしていき、綺ヶ後修正点をあって跳びま つて跳 全中で 定 かっ び は、 \* つ たと

八月二五日

<u>日</u>

P T

Α

美

し六化

ま時に

す開業

始

協

力

をよろ

<

お

願

2年--森真緒さん

よ集きま班きとな部「頑てぺなよ苦」に活挨私き五事なたた」をま自いと今

たいかに つ船きいやに たでたろしつってるか け漕いいたいていよら どぐすかな ったたに手 いかに

弱い

いと

ティ

にう

負気

け持

ずち

強負

いけ

`に

いなに

たでったき

て

゜のな

で声

こ明

いれる

ろかく

んら元

なの気

を 見

ながら行

まご「尾りいまの長会 す活宮」元限す全にを A C 総監督 A C 総監督。 参 上ず フラスマ A はり。中 C 、で四決 が す中定ルた。晩けがる F陸は、 たがきた ちらこそ、おめでとうござい督。教え子さんの成長ぶりと監督宮脇浩司様からでした。教育委員会生涯学習課長・荒さめでとうございます。」送陸上部第一期生としてうれしは、史上初ではないかと思いかきました。「中島先生。二人 夜準 あ (生ない) (生ない) (本島か) (本島か) てか生らてうと。早全 ざりた。 速国 荒送しい人校大

# 給食センター 視

いごしれ食様・藤夕食尾八六 たざいまのが松丸 ― セ市日月 だい給し様給井様のン給荒+

ま生六**(** ょした。荒尾ベーシッ 生方が研究授業をされ 六月二十四日三名の先 【**先生方の研究授業】** の 授業実践 **対鎖です。** C